

# 札幌学院大学

商学部 経済学部 人文学部 法学部 社会情報学部 商学部第二  
 商学科 経済学科 人間科学科 法律学科 社会情報学科 商学科

Sapporo Gakuin University

# 学園広報

1995. 2. 22 No.60

編集・発行 札幌学院大学 企画調査室  
 〒069 北海道江別市文京台11番地  
 電話 (011)386-8111

## 新厚生施設を建設

～平成9年度からお目見え～



本校の「キャンパス整備基本構想」に基づく「キャンパス舎の建設が新年度早々に行われ、整備第二期計画の一環とされることになった。

新校舎の建設については、平成五年六月に厚生施設基本計画検討委員会が発足、

**大学院(法学研究科)の設置認可を申請**  
**本年4月の開設に向けて**

大学院の新設について、一昨年来教授会などで鋭意検討を進めていたが、将来的には総合大学院を展望しつつも、当面は開学以来の法学教育の伝統を発展させた、大学院を設置することとなった。

これに伴い、理事会・評議員会の決議など学内手続きを済ませ、平成七年四月の開設をめざし、大学院の設置に係る認可申請書を昨年十一月三十日文科大臣あて提出した。

また、教育職員免許状の専修免許取得のための教職課程認定申請書(大学院の課程も同時に提出した)。

去る、二月三日及び二十一日に行われた文部省(大学設置・学校法人審議会)の実地調査を無事終え、審議会の答申・認可は三月初めが予定されている。

○設置する大学院の内容  
 ・法学研究科 法学専攻 修士課程 入学定員十人

**大学院設置の要旨**

本学が時代と社会の要請、特に北海道における法学系大学院が少ないうえ、より高度な学術研究の推進と国際化の進展に対応すべく、既存法学部を基礎に、高度な専門的知識・能力を持つ職業人の養成②地域社会に貢献する人材の養成③国際的視野を有する人材の養成など現代社会の要請にこたえることを目的としている。

## 1995年度 入試速報

昨年引き続き十八歳人口の減少と、不景気の中で迎えた一九九五年入試は、本学にとっても厳しい状況となった。減少率は前年比で、推薦入試が七%、一般入試が九%

表1 1995年度推薦入学試験結果

学部・学科	志願者数	合格者数	倍率
商学部 第一部 商学科	173	96	1.8
経済学部 経済学科	256	96	2.6
人文学部 人間科学科	207	72	2.9
人文学部 英語英米文学科	60	33	1.8
法学部 法律学科	179	113	1.6
社会情報学部 社会情報学科	164	80	2.0
商学部 第二部 商学科	92	44	2.0
合計	1,131	534	2.1

表2 1995年度一般入学試験出願状況

学部・学科	志願者数(推薦除く)			
	95年度	倍率	94年度	対前年比
商学部 第一部 商学科	2,151	14.9	2,181	98.6%
経済学部 経済学科	2,861	19.7	3,538	80.9
人文学部 人間科学科	1,591	15.4	1,519	104.7
人文学部 英語英米文学科	626	12.3	755	82.9
法学部 法律学科	1,631	12.7	1,833	89.0
社会情報学部 社会情報学科	1,999	12.4	1,958	102.1
商学部 第二部 商学科	678	10.8	970	69.6
合計	11,537	14.5	12,754	90.5

※商学部第二部商学科は一期試験のみ

## 国際交流センターオープン

国際交流センターは、大学全体の国際交流の一層の推進を図るため、その中心機関としての役割を担うことを目的として、九四年八月一日設置された。初代のセンター長に、中野徹三(人文学部教授)が就任した。

この国際交流センターの活動の拠点となる事務室と国際交流室(A館二階)の完成に合わせ、その実質的なスタートを祝い、九四年十二月十四日開所式を行った。

開所式には、学長・学部長をはじめ大学関係者・海外研修に参加した在学生・外国人留学生など五十余名が出席し、センターの発足を祝った。

国際交流センターでは、今後増加が予想される外国人留学生への総合的な情報提供と相談、②学生の海外留学・研修の総合的な情報提供と相談、③外国人留学生同士の情報交換の場として利用される事を期待している。

国際交流センター 開所式

昨年三月に「食生活の場、語らひの場」豊かなある生活の場「学生生活創造の場」の三つの柱をコンセプトとした答申を受け、さらに学園創立五十周年記念のメイン事業として行われることになった。

建設する場所は、第一キャンパス北東側で、既設のD館横にE館、続いて大学の大沢に面した部分にF館、さらに建物の向きを西側に変えてG館へと続く。建物はすべて渡り廊下でつなぎ、冬の間や雨天時でも外に出ることなく利用できる。G館の前は地形を生かし、階段を利用した学生プラザを設け、野外のイベント等にも利用できる。

平成八年度中に完成し、平成九年度から利用できる予定

約五、〇〇〇平方メートルの三角柱型の建物で、中央部は一階から五階まで吹き抜け天井には自然の光が入るようトランプライトを設ける。

一階は購買、書籍販売等。二階以上は学生団体室、クラブ室、合宿所、会議室等を配置する。

鉄骨鉄筋コンクリート造 八階建 約九、五〇〇平方メートル

一階は可動椅子を約五百席、ステージを設け、音楽や講演さらには軽スポーツもできる。

四階は機械室。五階には特別食堂、特別会議室等を配置。六、八階は食堂として利用する。食堂については、三層に分けることにより、多様な雰囲気、多様な利用に際し、特に最上階の八階は江別・札幌市内を展望できるラウンジとする。

海外レポート

### アトランタにて 西出敬一

現地に来た最初の一月は、アパート探し、公共サービスの手配、車の登録や免許試験、三人の子供小、中、高の入学手続きなど、雑多な準備に忙殺され、大学通いが軌道に乗ったのは十月からです。

現住地はかつてのチェロキ族の居住地で、インディアン語にちなむ地名が多く残っています。

アトランタ大学はダウンタウンの中心付近に位置し、近くにはCNNセンターやコココーラ・ワールド、アトランタ・ドームなどの有名な建物があります。デューボイス博士が教鞭をとったアトランタ大学や、キング牧師の出たモアハウス大学など主な黒人大学が一方所に集中して、アトランタ大学センターと呼ばれています。オリンピックの会場にもなるそうです。

指導教授のアルマ・ウィリアムズが完璧なアフリカ衣装だったのは驚きました。図書館のロビーにはマルコムXの大きな肖像画が掲げられています。学生のスタイルやビラ、新聞など、アフリカン・アメリカンという自覚が充満しています。私が黒人史研究者として今回の滞米生活を一番期待していたのは、このような環境を体験することでした。

ただ残念なことがあります。大学キャンパスとその周辺がアトランタの中で最も犯罪発生率が高いことです。大学に銃を持つ学生が少なくなく、銃による犯罪が多発しています。つい先日、ボストンから来ている黒人学生が

謹んで被災者の皆様にお見舞い申し上げます。一日も早く平穏な日々を迎えられますことをお祈りいたします。

札幌学院大学



図書館前で、しかも白昼に射殺され、車を奪われました。キャンパスには専用の警察官が百名以上も配置されているのですが、余り効果がないようです。私はマルタという地下鉄とバスで通学しているのですが、絶えず気を緩めることができないのが現実です。

これからは、図書館での文献のらめつこだけなく、アトランタとその周辺諸州にある史跡などを、できるだけ多く見てみたいと思っています。百聞は一見にしかずといえますから。

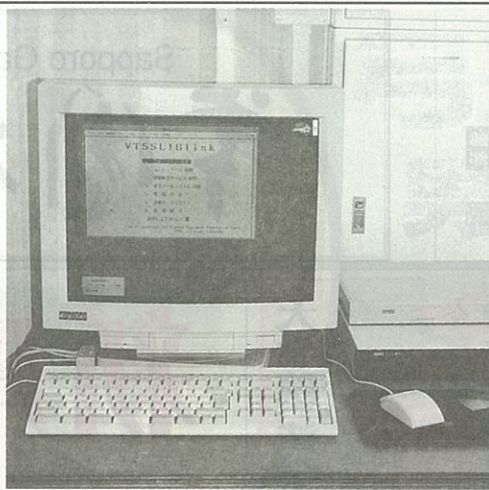


# 利用者サービスを充実

## 図書館電算機リニューアル

一九八八年から図書館業務の機械化を始め、以来、目録データの電子化、オンライン目録検索システムの提供など、順次電算化の歩を進めて

きました。なかでも、ローマ字によるカード式目録の蔵書検索から端末による蔵書検索への切り替えは、利用者にとって画期的な出来事であり、好評を博してきました。その一方、現行のシステムには検索速度など幾つかの問題点もあり、抜本的な改善が急務となっていました。



4月にデビューする図書館新システム

その図書館システムの更新が今年度おこなわれ、十一月にはDEC3800の搬入、光ケーブルを使い学内LANを経由した学術情報センターとの接続も無事完了、現在は平成七年四月の稼働をめざし職員一同で開発に取り組んでいます。

システムの特徴として三点あります。①CD-ROMを活用した現行の目録システムから、学術情報センター共同分担目録システムに参加して

総合目録データベースを形成する。②発注・受入・目録及び閲覧・参考業務まで図書館業務全般にわたるシステムを構築する。③CD-ROM利用の環境を整備して、雑誌・論文・新聞記事・判例などの検索を平成七年度から利用者に提供する。

さらに、平成七年度からは図書館の開館時間を延長する予定です。月曜日から土曜日

まで、午前九時から午後八時まで利用できるようになり、また可能な限り開館する運営方針に従い、開館日数も年々増加しています。

このような計画を進めて参りますが、目標は業務改善と利用者サービスの充実にあります。利用者のご期待を反映した「使いやすい図書館」の実現を念願しておりますのでよろしくお願ひ致します。

し、涙が出てたまりません。これは、四年間当大学で、いろいろな知識を先生方から教えて頂いたからです。

なぜ、私は大学院を目指すのか。母国の中国は、日本に比べると心理学分野の遅れが目立っています。とりわけ心理臨床に関する領域は、まったくといってよいほど進展が見られておりません。人間の場合、病気が手術や薬でい

# 話題 この人



留学生として初めて大学院に合格  
人文学部人間科学科4年 沈 勇強 君

九月二十九日、北海道教育大学大学院の入試合格通知書を手に入りました。喜び

より安堵の気持ちが胸をひた

ません。したがって、私にと

って、心理臨床の仕事は全然見当がつかないと思います。

ある「リベ」学園を訪れ、しりべし学園は、精神薄弱者(児)施設なのだが、今まで接する機会が少なかったため、三週間やっていたり不安だ

た。だが、学園の玄関に入るとそんな不安な気持ちは吹き飛んでしまった。実習生である私達の顔を見ると、「こ

んなには」と誰からもなく明るい声をかけてくる。このような皆の元気なあいさつに圧倒されながら、私の実習は始まることになった。

実習の中では、私は、部屋の担当もあつてか、子供たちと接する機会が多かった。学園の子供たちは、言葉の不自

道とわが国のハイ・タク業界を先導した偉大な事業の革命者たつた。また、輪七十年を過ぎて始めた日ノ交流と日ノ友好文化会館設立の事業は、旧ソ連の要人をも心服せしめ、本道と旧ソ連連邦との間にし

つかりした民間外交の土台を築いた日本人として三人目のソ連民族友好勲章を受章。

とりわけ私たちが銘記すべきことは、本学園の歴史もつとも重要ないくつかの転換点で氏が果たして下さった学園の救い手としての役割である。

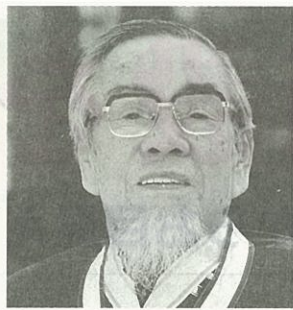
地取得に際し、学園の顧問となられていた氏が果たされた巨大な功の助力である。とりわけ昭和五十九年に大手不動産が所有する時価八億円の第二キャンパス後背地四万四千平米を五億円で取得するとい

うやはり「常識外れ」の成果が、東京まで出向いて関係者を動かされた氏の絶大な影響力なしに絶対に不可能だったことは、終始氏のお伴をしてこの課題に当たった私自身がはっきりと確言できる。そして第二校地なしに、法学部以降今後に及ぶ一切の将来計画は全く不可能であったのだ。

今、生死という自然の不動の掟により、氏は私たちに置いて帰らぬ永遠の旅路に立たれた。だが、残された者は、あの親しみあふれる温顔と味わい深い数々の名言の追憶とあわせ、この時代にひとりの偉大な人格と接し得たというかけがえない精神の遺産をも、ひそかな誇りと共に相続したはずである。

この精神の遺産を未来に生かすことこそ、私たちの氏への報恩にほかならない。

柴野さんが亡くなった一月五日から六日にかけて雪の札幌を走ったこの知らせは、氏を知るすべての人の胸中に深い哀しみと巨大な空白を残した。それは、岩本政光葬儀委員長(前参議院議員)の言葉を引くならば、まさに「巨星墜つ」の想いだつた。



# 学園への信頼と愛情

## 柴野 安三郎顧問を悼む

人文学部教授 中野 徹三

少年期と労働者としての氏の原体験から発し、経営者と労働者の別なく各自の人間性と主体性(生きがい)が尊重される企業共同体をめざす氏独自の経営理念に根柢を持つものだったが、この「常識離れ」の提案は私たちが教職員に対する

提議は私たちが教職員に対する

提議は私たちが教職員に対する

提議は私たちが教職員に対する

提議は私たちが教職員に対する

提議は私たちが教職員に対する

提議は私たちが教職員に対する

提議は私たちが教職員に対する

提議は私たちが教職員に対する

提議は私たちが教職員に対する

提議は私たちが教職員に対する

提議は私たちが教職員に対する

提議は私たちが教職員に対する

提議は私たちが教職員に対する



担当の部屋の子供たちと。後列中央が筆者

# 学園の子供たちとの出会い

人文学部人間科学科3年 二木 円

私は夏休みの後半、三週間程、福祉実習の為に黒川内に

入った。それは、一日二日の

入った。それは、一日二日の

入った。それは、一日二日の

入った。それは、一日二日の

# 平成7年度 学費改訂

去る平成六年十二月七日に開催された学校法人札幌学院大学第一〇回理事会において、平成七年度札幌学院大学学費を改訂することにより決定しました。

学費改訂が必要となつた要因は、主として人件費及び基本金組入額の増加と資産運用収入及び手数料収入の減少にあります。これらの主な内容は次の通りです。

1. 人件費及び基本金組入額の増加  
平成六年度に比べ、人件費は約四、五〇〇万円の増加(二・七%)、基本金組入額は約五、五〇〇万円の増加(五・〇%)が見込まれていま

2. 資産運用収入及び手数料収入の減少  
平成六年度に比べ、これらの収入は約一、〇〇〇万円の減少(一・〇%)が見込まれていま

以上のように入新設二学部の完成に伴う補助金収入の大幅な増加(七、三〇〇万円)や人文学部の臨時定員増四年目に伴う収入増にも拘わらず、平成七年度予算では、学費を改訂しなければ大幅な消費支出超過(赤字)になります。少なくとも資産運用収入及び手数料収入の減少による減収が避けられないことから、何らかの恒常的収入源をもつてこれを賄わなければならない。また、基本金組入額の増加は減に努力する所存です。

# 1. 商学部第一部・経済学部・人文学部・法学部

	平成7年度 新学費	平成6年度 現行学費	差額
入学金	200,000	170,000	30,000
授業料	738,000	718,000	20,000
合計	938,000	888,000	50,000

(入学金は、平成7年度入学生(1年生)のみ)

# 2. 社会情報学部

	平成7年度 新学費	平成6年度 現行学費	差額
入学金	200,000	170,000	30,000
授業料	959,000	939,000	20,000
合計	1,159,000	1,109,000	50,000

(入学金は、平成7年度入学生(1年生)のみ)

# 3. 商学部第二部

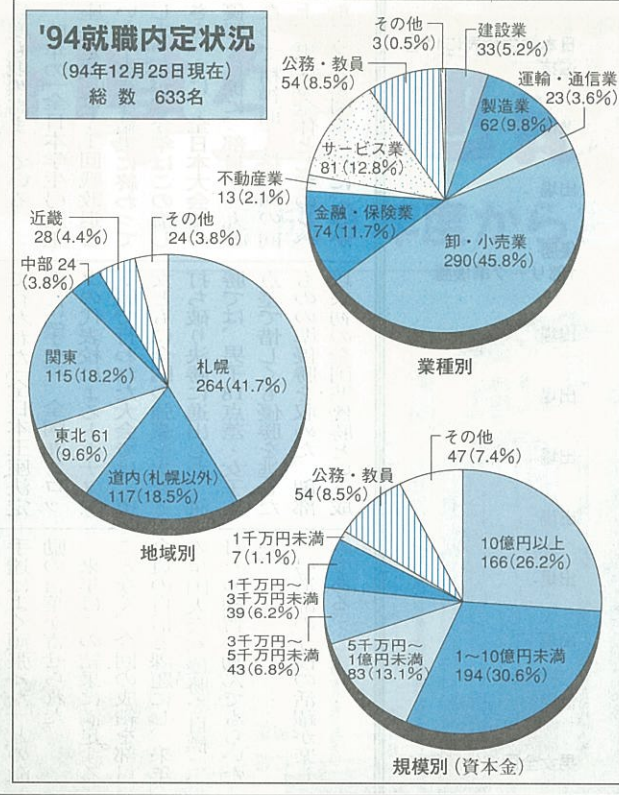
	平成7年度 新学費	平成6年度 現行学費	差額
入学金	100,000	85,000	15,000
授業料	421,000	411,000	10,000
合計	521,000	496,000	25,000

(入学金は、平成7年度入学生(1年生)のみ)  
(注)第2学年以降の学費は、4年間の学費総額の上限を208万円の範囲内で改訂)

# '94就職戦線 内定率昨年を上回る

平成六年度の就職戦線は、まさに「氷河期」そのもの。一時的に景気回復の兆しが云々だったが、厳しさは前年度以上という環境下に推移した。求人件数は激減の前年度をさらに二五%下回り、最も多かった九〇年度の四〇%という落ち込みよう。スタートから企業の反応は鈍く、また選考基準は前年度より一層厳しさを増した。筆記試験、論文、作文を取り上げるところが増え、選考回数を重ねるなど、機軸の強さを見極めるなど、内定の結論を出すまで時間がかかる姿勢が多く見られた。

このような厳しい環境下ではあったが、本学学生は健闘した。十二月末現在で、内定率は男子八五%、女子六五%と、昨年をやや上回り、民間企業志望者のうち積極的に活動したものの大半は内定を手



## OB通信 地元の人とのふれあいを大切に



**小樽信用金庫理事長 鎌田 力さん**

常勤理事(二十八年卒)と二名の同窓がおり、また定年等で既に退職した文専・短大の先輩が四名おりました。それぞれ就職の動機や考え方は異なると思いますが、いつの時代も学生にとって、就職問題は大変悩み、苦労の多いことだと思います。

中島公園の廊下を歩くと板の軋む音のした校舎を懐かしく想出しながら、卒業して三十八年になろうとしている自分の年齢をあらためて確認し、人生の八分目付近まで辿り着いたように感じています。

偶然ですが、私の会社の経営陣に専務理事(二十八卒)がいます。

私の就職の時地元企業と政府系法人のどちらかの選択を迫られました。私は毎年

## “氷河” 解かした学生たち

内定者からメッセージ

何故新卒者の多い年に不況になるんだ！バブルのつけをまわすな！とぼやきつつ、就職活動を始めたのは三月。六月に出場を迎え、記録的猛暑の中、東京へ日帰りで行ったり、面接の掛けをしたりと「就職活動は体が資本」を実感した半年でした。

最後に、先輩の皆さんに心からのエールを送ります。

は望めないと覚悟しなければならぬだろう。三年生にとって、この四五カ月の動きが将来を左右するが、的確な目標設定と、意欲的、積極的な行動が決め手になる。悔いを残さぬ取り組みを期待したい。

なお今年度の就職状況は、上のグラフの通りである。

当金庫の採用試験の最終面接に参加される学生さんのお話を聞きますが、地元のことを考え、地元で自分のエネルギーを燃焼したいという学生を待ち望んでいます。

このことは私に限らず、各地の地元企業の責任者の共通の願望ではなからうかと思えます。人間だれしも親に恩返しをしたい、親孝行をしたいという気持ちには無意識のうちにも潜在的にあると思えますが、その気持ちの延長は自分の出身地に対して、企業の発展に能力を発揮してくれる意欲的な人材が地元に残ってくれることにより、その町の活性化が進行すると考えています。私は毎年

**早い行動で自信と余裕を**

（株）北洋銀行内定 経済学部経済学科 八重樫健治

就職活動において私の経験から言えることは、とにかく早い時期から行動を起すことが大事だということです。私が早い時期から行動したからではなく、むしろその逆で、のんびりしていたためにとても辛い思いをしたからです。私も三年生の十月頃か

**胸を張れるものをつくる**

生活協同組合市民生協コープさっぽろ内定 人文学部人間科学科 刀禰由実子

私の大学生活は、学内外の企画準備に飛び回った四年間でしたが、それが自分を見直す機会にもなり、自信にもなりました。偉そうなことは言えませんが、面接等で問われるのは、これまで何をし何を待たかを、PRできるか否かです。新四年生には自分を確実に振り返ることを、その他の方には胸を張れるものをつくることをお勧めします。又、どうしても就職したい企業がある人は、早目に就職課や先生方に相談して下さい。力になつてくれる管です。

**自分の天職を見つけよう**

北海道中級・国家Ⅱ種に合格 法学部法律学科 佐藤 直行

私の場合は二年生の頃から、公務員になることを視野に入れた就職観の下で学生生活を過ごしたことが、今回の結果をもたらしたと思います。ただ、大学四年の四月頃迄は民間企業への就職も考えて活動していたため、周囲の方から、民間と公務員の活動配分を決

**自分という商品を売る**

近畿日本ツーリスト(株)内定 社会情報学部社会情報学科 大竹 博文

旅行会社に入ると大卒男子は、ほとんどが外回りの営業マンとしてスタートします。そこで私は就職活動を通して、旅行会社の営業マンとなれた時の姿をアピール出来ればと考えてました。

つまり、企業に“大竹博文”という商品売

**自信をもって決断を**

朝日生命保険相互会社内定 商学部商学科 中野 豊

就職活動とは、私自身の二十二年間の人生で培ってきたこと全てを見せることであり、その結果として企業が私に対して採用、不採用という評価をするものだと考えていました。そのため私自身も私を一番高く評価してくれた企業にお世話になろうと決めていました。

（ついでに）考えた中で始まった就職活動でしたが、私が一番実感したことは、常に決断を迫られているということでした。これは、同業種の場合、採用時期が重なりがちなためなのかも知れませんが、数社の採用試験が同時時間帯に重なったり、突然面接中に他社への断りの電話を求められたりすることがありました。しかし、こうした状況の中で適当にその場しのぎの決断をしては、良い結果を得ることは出来ないと、私は思っています。自分の決断に自信を持って全力で行動していけば、必ず良い結果を得ることが出来るはずだと思います。後輩の皆さんも失敗を恐れずに自分自身を企業にぶつけてみて下さい。就職活動は、前進あるのみです。

# 体育系クラブ大躍進

◎第49回愛知県国民体育大会秋季大会	陸上・自転車・ソフトボールに6名出場
◎陸上競技部	男子4年連続総合優勝 第46回北海道学生陸上競技対校選手権大会 第26回全日本大学駅伝対校選手権大会(熱田~伊勢)
◎アメリカンフットボール部	韓国遠征
◎サッカー部	第74回天皇杯全日本サッカー選手権北海道大会
◎ホッケー部	第43回全日本学生ホッケー選手権大会(東京)
◎軟式野球部	北海道地区大学軟式野球連盟新人戦 全日本大学軟式野球選手権大会(春季・秋季)
◎自転車部	'94(第8回) ツール・ド・北海道
◎ゴルフ部	第48回日本学生ゴルフ選手権大会(兵庫)
◎軟式庭球部	全日本学生ソフトテニス選手権大会(千葉)
◎男子硬式庭球部	第62回全日本学生テニス選手権大会(兵庫)
◎羽球部	第45回全日本学生バドミントン選手権大会(埼玉)
◎卓球部	第61回全日本学生卓球選手権大会(大阪)
◎アイスホッケー部	第18回全道学生アイスホッケーリーグ
◎弓道部	全日本学生弓道王座決定戦(伊勢)
◎剣道部	第42回全日本学生剣道優勝大会(大阪)
◎少林寺拳法部	第28回少林寺拳法全日本学生大会(東京)
◎カヌー同好会	第3回北海道学生カヌー選手権大会
◎応援指導部チアリーダー	第6回全日本学生チアリーディング選手権大会(東京)

今年で創部二十年目を迎えた弓道部は伝統ある武道系クラブで、部員数も三十名うち四割が女子を越えている。選手の中には、公募制Bコースに選ばれた者の特別推薦入学者もあり、道内大学の中でも、選手層の厚さと技術レベルはトップクラスである。道内大会はもとより、全国大会でも好成績を収めるようになった。

今年度は依然高まっている。昨年の「全日本学生弓道王座決定戦」は、1回戦敗退という不本意な結果に終わってしまったが、今年はこの悔しさをバネに、全日本大会での優勝を目標に、部員が一丸となって精神面・技術面の向上、更なる全体としてのレベルアップを図るために、春から厳しい練習を重ねてきた。その結果、十月に行われた「全道学生弓道争覇戦」で見事に男子・女子ともに一部リーグ全勝優勝を果たした。十一月には、昨年の屈辱を晴らすべく伊勢神宮弓道場で行われた「全日本王座決定戦」に望んだ。全国九プロットの代表校によるトーナメント戦で行われた大会では、男女ともに全国の強豪を次々と打ち破り決勝に進出した。決勝では、男子18点差・女子1点差で惜しくも優勝を逃したものの準優勝を取った。創部以来初の全国準優勝という成果は、部員全員の大きな自信となった。

三年前には、道内一部から二部に落ち、低迷した時期もあったが、その後奮起し全国優勝に手が届くところまで成長した姿に、先輩からも「選手達はよく頑張った」との激励の言葉が寄せられた。来年はこの結果に満足することなく、今回の成績を部員全員の自信と課題にし、来年の全国大会初優勝を目標に、日々の練習に励んでもらいたい。弓道部の今後の活躍が楽しみである。

## 弓道部 男女とも 全国準優勝

創部20年目の快挙



フリースタイルスキー・モーターの日本代表選手として活躍中の岩淵隆二君(人間科学科四年)と原 大虎君(経済学科二年)に続き、新たに岩淵君の妹の千代子さん(人間科学科)が入学し、現在ワールドカップ(W杯)で大活躍している。

## フリースタイルスキー(エアリアル)で 世界へ挑戦!

人間科学科1年 岩淵千代子さん

長野オリンピックの兄妹出場を目標に練習に励み、日本代表選手として岩淵君、原君と共に世界の檜舞台での活躍に期待したい。

## 税を知るクイズ大学生大会 2年連続団体優勝

個人も沼澤君が最優秀賞に

「税を知るクイズ大会」が十一月十六日、江別市コミュニティセンターで開催され、江別市内の大学、短大から約一五〇人が参加した。本学からは畑山ゼミ・藤永ゼミを中心に四十七名が参加した。この大会は、江別市納税申告会、江別市納税貯蓄組合連合など七団体の主催で、次代を担う若者に、税に対する知識と理解を深めてもらう目的で、一昨年から始まり、今年で三回目を迎えた。



## 実業団入り 期待をこらへる選手

陸上競技部 永井一仁君 三英社陸上部

アメリカンフットボール部 村上史一君 スカイラックス

1日も早いレギュラーポジションを狙う 村上史一君(商学部)

も活躍しており、永井君は「将来はマラソンで好記録を出したい」と闘志を漲らせている。

アメリカンフットボール部から昨年に引き続き、スカイラックス(関東社会人リーグ)に加入し、ファーストワードレストラン「すかいらーく」が母体の実業団チームに入団が決定したのは、ディフェンスの要となるラインバックラーの村上史一君(商学部)である。

## 人に自然にやさしく

ボランティアサークル SGU 江別 BBS会

大学の文化系サークルとしての学内活動と共に、江別市のボランティア団体に加盟し活動を行っているSGU江別BBS会(BBSとはBig Brothers and Sisters Movementの略)では、今年から新たに北海道女子短期大学からの入会者を迎え、現在三十数名が活動をしている。

マラソンで好記録を「と闘志を燃やす」永井一仁君(経済学部)

トボール部から実業団選手が誕生した。三英社陸上部(地中配電装備会社)に入部が決定したのは陸上部の永井一仁君(経済学部)である。

永井君は全日本大学駅伝に四年連続選手として出場し、道内大会はもとより北海道選抜メンバーとして数々の全国大会に出場するなどの活躍があり、陸上競技部コーチの目に留まり、入部が決まった。

永井君は「先輩(三津君・九三年度卒)がやるので、心強い。一日も早く、レギュラーとして試合に出たい」と意気込みを見せつつある。

体育系サークルからの実業団選手は、後輩たちの大きな憧れであり目標となっている。彼らの更なる活躍を大いに期待したい。

第38回北海道地方BBS大会 大会で1釧路市

BS大会では、北海道教育大学釧路校との交流会を行った。他大学との交流は、今後さらに盛んに行う計画である。

今後の活動としては、「地域への貢献」を目標に文京台地区におけるゴミ拾いや一人暮らしの老人家庭の除雪なども計画している。

BBSサークル員の「今」できることへの積極的な取り組みに、今後も期待したい。